

まつかわ

□□□ 第8号 □□□

ご卒業 おめでとうございます

3年生121名は、九年間の義務教育を終え、本日、卒業証書を授与されました。本校の歴史に大きな1ページを残してくれたことに感謝し、晴れの門出を心から祝福したいと思います。

この一年間、私たち職員は、子どもたちの成長を日々実感しながら毎日を過ごすことができました。保護者の皆様、地域の皆様、本校の教育活動をお支えいただき、本当にありがとうございました。

【3学期終業式 校長先生の話】

1月9日に始まった3学期はあっという間に過ぎ、本日終了します。

3学期は、一年の中で一番短い学期ではありますが、私にとっても本当にあっという間の学期でした。皆さんはどうでしたか。特に3年生は、次のステージに進むために「受験」という関門を経験しましたが、どうでしたか。



ところで、今年の冬は、韓国、平昌で冬期オリンピックが開催されました。まだまだ記憶に残っている人も多いと思います。メダルをとれた種目、涙を呑んだ種目など様々なドラマがありましたが、連日テレビで放映される選手の姿に釘付けになったのは、私だけではないでしょう。

今回のオリンピック。日本選手は、過去最高のメダル14個を獲得しました。

本校図書館前には、競技の様子や結果を伝える新聞記事の切り抜きを張っていただいておりますが、廊下を通るたびに、感動がよみがえってきますね。

風

ところで、今回のオリンピックでは、様々な競技の中で、一つの言葉がよく聞かれました。それは「風」という言葉です。



たとえば、オリンピック開始まもなく行われたスキージャンプやスノーボード。7回目のオリンピック出場の葛西選手やメダルが期待されたスノーボードの藤森選手、鬼塚選手。平昌を連日襲った強風に悩まされ、4年間トレーニングを積んで臨んだ晴れ舞台を気まぐれな風のために最高のパフォーマンスができずに終わるのは、きっと悔しかったと思います。そんな中で、女子ジャンプの高梨選手が、銅メダルという結果に結びついたこと、私はとても嬉しかったです。

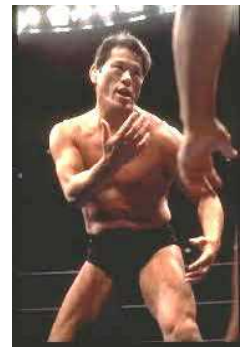
また、スケートのチームパシュート競技。日本人選手は、これまで重ねてきた練習の努力とチームワークで見事金メダルを獲得しました。オランダよりも個々の能力は低くても、先頭の選手が風よけになり、3人がお互いを補いながら力を合わせる姿が感動を与えてくれました。スケートでも、盛んに「風」という言葉が聞かれました。

さて、先ほど話しましたスキージャンプでは、距離を伸ばすには、「向かい風」が必要とされています。自分に向かってくる風に、スキートの板や身体を利用して、いかに風に乗るかが、距離を伸ばす秘訣となるようです。「追い風」が自分の見方になることは世の中よくありますが、「向かい風」をいかに見方にするかという部分が面白くもあり難しい競技だと思いました。

「向かい風」という言葉に関連して、今日は私の好きな「物事の考え方」を皆さんに紹介します。それは、プロレスラーとして、その後は国会議員にもなったアントニオ猪木がプロレスラー時代よく口にしていた「風車の理論」というものです。ところで、皆さんは「風車」というものがイメージできますか。(写真を見ながら) 風の力を借りて、羽根を回し、動力を生み出す装置です。昔は、その動力で、粉をひいたり、水をくみ上げたり、今は電力を生み出したりする装置です。当然、強い向かい風が吹かなければ、風車は強く回りませんね。そんな構造



を持つ風車をアントニオ猪木は自分のプロレスのスタイルに重ね合わせ「風車の理論」と名付けています。その内容は、「相手の力を最大限に引き出して、そして、それを自分自身でしっかり受け止め、自分はそれ以上の力を出す。つまり強い相手であればあるほど、その力を受けて自分の風車の羽根を強く回してくれるエネルギーになるのだ。自分に向かってくる逆風は、それを自分自身がしっかり受け止めれば、自分を強く回すエネルギーになるんだ」というものです。私は、この考え方が好きで、いろいろな場面で心の片隅に置いています。もちろん、強い相手やうまくいかない出来事には、めげそうな時もあるし、逆風なんて吹かないでほしいと願うこともあります。が、根底には、この考え方を忘れてはいけないと自分に言い聞かせています。



今回のオリンピックでは、前回オリンピックの挫折をバネにして、栄光をつかんだ選手が茅野市出身の小平選手をはじめたくさんいました。きっと、それまでの苦しさや逆風、ライバルの力を、自分自身の風車の羽根を回すエネルギーにしたのではないのでしょうか。



今日は、「風」という言葉から話をさせていただきました。

学校からのお知らせ

※4月5日(木)について

新2・3年生は、登校時刻 11:00, 弁当持参になりますのでお願い致します。

①登校時刻	11:00	制服
	※臨時バス	上峠発 10:15
		大堤発 10:25
		松川高校西発 10:25
②持ち物	カバン 上履き 手拭い 雑巾 弁当持参 筆入れ 他 学年等で指示が出ているもの (部活動継続願い)	
③完全下校	16:00	

※平成29年度末人事異動で、9名の職員が松川中学校を去ることになりました。保護者や地域の皆様方からいただいたご厚情に感謝し、ここに紹介いたします。

◇ 有賀 稔	(校長)	南信教育事務所 (主幹指導主事)
◇ 佐々木政臣	(技術)	退職
◇ 日向 邦夫	(教育支援)	飯田市立旭ヶ丘中学校
◇ 木下 栄二	(英語)	飯田市立鼎中学校
◇ 植村佳奈恵	(美術)	長野市立更北中学校
◇ 高橋 走	(社会)	伊那市立東部中学校
◇ 小林 拓	(社会)	松本市立波田中学校
◇ 市岡 阿依	(教育支援員・地域オーディネーター)	退職
◇ 柳田 京子	(給食調理員)	退職